

横浜市総合保健医療センター しらさぎ通信

理念:「**個の尊重**」「**安心と信頼**」を大切に、
質の高いサービス提供を目指します。

第 200 号

■発行日:令和 4年 8月

■発行:指定管理者

公益財団法人横浜市総合保健医療財団

■発行責任者:総合相談室長 伊藤未知代
〒222-0035

横浜市港北区鳥山町1735番地

☎045(475)0103 Fax.045(475)0101

連日 35℃近くの猛暑、心身共に気が
滅入る日々が続いております。
マスク生活が当たり前の今日この頃、
適切な熱中症対策を講じて日々の
生活をお送りください。

9月のお食事イベント



9月14日(水)夕食 選択食
栗ご飯・きのこ汁

肉団子の甘辛煮 または 魚のパン粉焼き



9月19日(月)昼食
お赤飯 天ぷら盛り合わせ 季節の果物



8月4日 土用の丑の日



7月の選択食
メンチカツ OR
アジの南蛮漬けでした♪

しらさぎ苑 2F

個別リハビリの様子

8月の2F中庭風景

ひまわりきれいねえ〜♪

イチ・ニ
イチ・ニ

あとひと座〜!

中庭を眺めながら、リハビリ頑張っています!

職員リレー

しらさぎ通信ご覧の皆様。

はじめまして4月1日より入職いたしました

作業療法士の **金子千恵子** と申します。

前職では整形外科病院に勤務しており、主に肩関節や手首などの骨折などの手術後のリハビリテーション業務に従事しておりました。趣味は歩くことです。1日 7000 歩、お休みの日は2時間程度歩いています。また、プライベートでは二児の母です。この通信を書いている日は子供たちの夏休みの自由研究のお手伝いをしていました。実践はできませんが、子育ての本を読むことや、体験談を聞くことが大好きです。利用者様とはこれからリハビリテーションをする中でたくさんのお話もしていけたらと思っております。介護施設で働くのは初めてのなので至らぬ点もありますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。





新型コロナウイルス感染症に対する 私達の取組み



当センターの感染対策について

新型コロナウイルスは過去最多の感染者数を更新しています。改めて気を引き締め、基本的な対策を続けていきます。オンライン面会等、ご家族の皆様のご協力もいただいています。

- 受付 : 施設内に入る全ての人に対し、体温測定を実施
- 清掃 : ドアノブや手すり、ベッド柵、コールボタンなど触れる機会が多い場所の消毒
- 換気 : 原則、常時実施（天候により時間毎に実施）
- 食事 : パーテーションの設置、消毒によるテーブルの清掃、黙食
- 日常 : マスクの着用、食事前などの手洗いまたは手指消毒の実施
- 職員 : 自宅での検温、家族を含めた体調管理、マスクとフェイスシールドの着用、手指消毒剤の携帯、休憩室での黙食
- 通所リハビリテーション送迎 : 車内でのマスク着用、窓を開ける、乗車前の体温測定

2022年8月 感染褥瘡委員会

コロナになんか負けませんよ！



直近1か月間のご報告です。

断続的に、利用者及び職員の新規感染が確認され、その度に皆さんにご心配をお掛けしましたが、いずれも以下の対応を徹底することで、集団感染(＝クラスターの発生)を防ぐことができています。

○陽性が確定次第、感染者の隔離を徹底し、対応者を限定して治療と介護にあたりました。同時に、同じ階の利用者と職員全員へのPCR検査を実施し、全件について、接触者全員の陰性を確認した上で健康観察を開始することができました。

○陽性者を把握してからの10日間は、移動を控える、動線を分ける等、常に感染拡大防止策を徹底し、慎重に全利用者の健康観察を行っています。ご家族の皆様にも、毎回、面会中止等へのご協力をお願いしました。

感染拡大防止には、「迅速に施設内の感染状況を把握し、迅速に対策を開始することが重要」と日々実感しています。

ご面会について…

ご希望を多くいただいておりますが、高齢者支援部門以外の職員からの応援を受ける等法人全体で取り組んでいますが、まだまだご希望に沿えず、誠に申し訳ありません。

更に、感染者が発生した時は、一定期間、面会は中止とせざるを得ず、その度に職員も、とても心苦しい気持ちで面会中止のご連絡をさせていただいています。

しかし、重症化とまん延のリスクが高い、高齢者の入所施設では、何よりも感染防止を最優先にせざるを得ません。どうかご理解いただけますようお願い致します。

